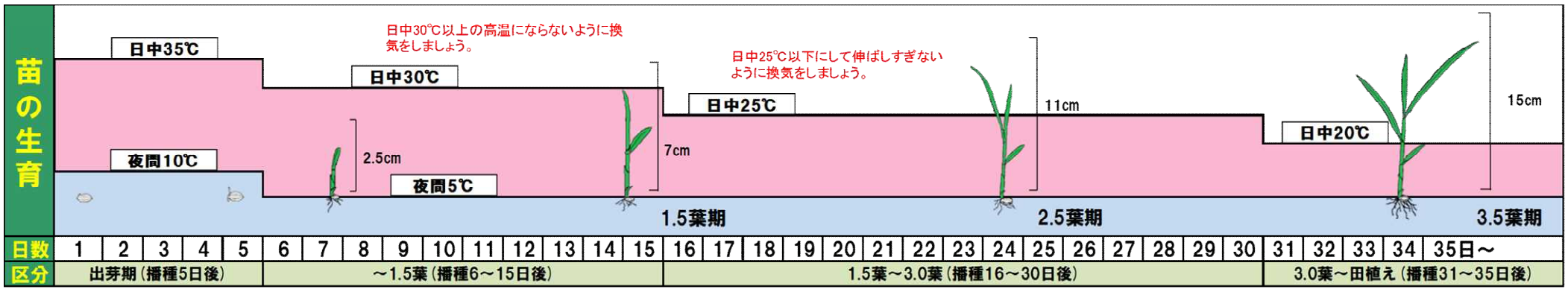
水稲生産情報　４月（第２号）

令和７年４月１７日
北 地 区 営 農 係

高品質で良食味な米づくりに向け、健康な土づくりと健苗育成に努めましょう
今後も気温は高く推移する見込みとなっておりますので、育苗中の温度・水管理を徹底しましょう。
低温時の深水管理ができるよう畦畔のかさ上げや整備・補強を行いましょう。

育苗管理

良い苗の条件は・・・根は、太く白い。根数が多い。
葉は、硬く、茎が太い背丈の低い苗（がっちりとした苗）



生育ステージごとの温度管理	出芽期 は種５日後	日中の温度 ３５℃以下 夜間の温度 １０℃以上	●ハウス育苗では、水分保持と保温のためにシルバーポリトウなどで平張り被覆を行いましょう。 ●シルバーポリトウなどの平張り被覆は、**８割程度の出芽**を確認したら取り除きましょう。 ※被覆期間が長すぎると、ヤケたり、伸びすぎて病気にかかりやすい弱い苗になるので注意しましょう。 ●折衷苗代では、**高温・過湿にならないよう換気と排水対策**(溝切り)に努めましょう。	
	～１.５葉期 は種６～１５日後	日中の温度 ３０℃前後	●日中は、**３０℃以上の高温にならないよう**積極的に換気を行いましょう。	**苗立枯病対策** 高温と過湿により発生しやすくなります。 発生した場合、ナエファインフロアブルの１,０００倍液を箱当たり　５００　mℓかん注しましょう。 ※青天の霹靂で、すでに粉剤･液剤を使用している場合は使用できません。
	１.５～３葉期 は種１６～３０日後	日中の温度 ２５℃程度	●2.5 葉期前後は生育が不安定になりやすいため、**日中２５℃以下にし、夜間は５℃以上**に管理しましょう。 **●かん水は箱土が乾燥し葉先が巻き始めた頃、朝方にたっぷりかん水しましょう。** ●追肥が必要になった場合は、１箱当たり硫安 5g を５００　mℓの水に溶かして追肥しましょう。 ※追肥後は必ず水洗いしてください。	
	３葉期～田植	日中の温度 ２０℃前後	●霜の降りるとき以外は外気に慣らして、硬く丈夫な苗に育てましょう。 ●田植えの５日位前から日中全面開放し、夜間は上部のみを被覆し両裾は開きましょう。	
水管理のポイント	ハウスは乾燥に、苗代は加湿に気をつけよう！ ●毎日機械的にかん水すると背丈が伸びる割には葉齢が進まない徒長した軟弱な苗になるので注意しましょう。 ●苗代では、床面と育苗箱の密着度を高めるため置床を柔らかくすることが大事です。 育苗箱が下に沈むような柔らかすぎる床土では出芽傷害をおこすので、耳たぶくらいの硬さの床面が望ましいです。 苗に直接水をかけないようにし、床面が乾燥した時は箱の床面に湛水して、箱に水が浸みたら直ちに水を切りましょう。			

土作り

耕起は１５㎝の深耕とし、作土層を広げ根が深くまで伸びるようにすることにより、窒素が生育後期まで持続的に吸収されます。

施肥量の目安　普通田（乾田）の場合

まっしぐら・はれわたり・・・総窒素成分量 9kg（基肥 7kg＋追肥 2kg）

	品　名	タイプ	１袋当りの成分			袋数(10a)
			N	P	K	まっしぐら・はれわたり
土壌改良材	混合リン肥新３号（ケイ酸資材）	化成	可溶性ケイ酸 26%、、く溶性りん酸 3%、苦土 3%、アルカリ分 39%			5～10 袋
基　肥	あおもり米粒状有機 050	有機	2.0	3.0	2.0	3.5 袋
	有機化成エコ米	有機	2.0	2.4	1.2	3.5 袋
	マップ２６４号	化成	2.4	3.2	2.8	2.9 袋
	高度化成オール１４	化成	2.8	2.8	2.8	2.5 袋
全量基肥（一発肥料）	一発あど楽	化成	4.0	3.0	3.0	2.3 袋
	水稲春一発	化成	2.0	2.0	2.0	4.5 袋
	軽がる一発	化成	4.0	2.2	1.2	2.3 袋

★ケイ酸質資材の施用で高品質米を目指そう！

ケイ酸は稲体の水分代謝、養分の転流を良好にし、気象の変化に強い稲体にする効果があります。
効果として・・・
病害虫や倒伏に対する抵抗性の向上
茎葉の組織が丈夫になるため、軽減する効果が期待できます。

登熟歩合や食味の向上
葉が直立して受光態勢が良くなり、光合成能力が高まることによって、良食味米の生産に役立ちます。